

アスファルトフィニッシャー納車式

無災害での作業遂行祈願

早水組―安全・品質第一に

【網走発】(株)早水組(網走、早水誠社長)は十一日、網走市内の同社網走事業所舗装プラントでアスファルトフィニッシャーの納車式ならびに安全祈願を行った。

安全・品質第一を目指し、新しい機械での無事故・無災害を祈願した。

同社が現在使用している舗装工事の建設機械は平成八年に購入したもので、こ

こ数年は故障による機械の停止が相次ぎ舗装作業の効率低下が否めない状況となっていた。このため、作業効率の向上や環境面への配慮を考えアスファルトフィニッシャーを入れ替えることとした。

購入した機種は、最大施工幅六メートル、伸縮全自動、電気式のスクリーン加熱、二百七十度ヒューモモニターなど次世代作業性能を誇る。

十一日には納車式ならびに安全祈願を実施。早水社長や同社舗装部の社員など二十三人が出席した。早水社長や津田忠克常務取締役などが玉串奉てんを行い、新しい機械での作業の安全を祈願した。

最後に早水社長があいさつし、「新しい機械では作業効率が一・五倍になり、当社の技術力があれば三倍にできるだろう」とした上で、「新しい機械は能力や勝手が違うので、安全第一で能力を過信せず作業に努めてほしい」と無事故・無災害での作業を心がけるよう呼びかけた。



作業の無事故・無災害を祈願し、あいさつする早水社長